



鳳鳴朝陽

出典 詩経

之者以一

兵庫県立篠山鳳鳴高等学校 進路通信

令和2年
1月14日発行
進路指導部
第4号

【生徒信条】
・勉強第一
・正義の実行
・身体の強健

3年生にとって進路決定の最大の山場がやってきました。まず、私大の一般入試の出願が現在ピークです。1月15日にはセンター試験直前指導が行われます。そして、センター試験が1月18日・19日。今年のセンター試験は本校からは106名の生徒が出願しました。センター試験受験後にはすぐに国公立大出願、さらに私大受験と慌ただしい展開となります。

さて、この進路通信の表面では主にセンター試験に臨む3年生を対象としてアドバイスを掲載しました。また、1・2年生は来年度センター試験ではなく共通テストを受験することになります。これについては紆余曲折があり、いろいろと世間を騒がせましたが、結局、現行のセンター試験とどこが変わったのでしょうか。何が同じで違うのかについて裏面で説明します。

2020年 1/18 (土) ~1/19 (日) 大学入試センター試験実施

試験日	試験教科・科目	試験時間	
1/18 (土)	地理歴史 公民	『世界史A』『世界史B』 『日本史A』『日本史B』 『地理A』『地理B』 『現代社会』『倫理』『政治・経済』 『倫理、政治・経済』	2科目選択 9:30~11:40 1科目選択 10:40~11:40
	国語	『国語』	13:00~14:20
	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』	【筆記】 15:10~16:30 【リスニング】 『英語』のみ 17:10~18:10
1/19 (日)	理科①	「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」	9:30~10:30
	数学①	『数学I』『数学I・A』	11:20~12:20
	数学②	『数学II』『数学II・B』 『簿記・会計』 『情報関係基礎』	13:40~14:40
	理科②	「物理」「化学」 「生物」「地学」	2科目選択 15:30~17:40 1科目選択 16:40~17:40

●センター試験以降のスケジュール

1/20 (月) 自己採点

1/18 (土) ~1/19 (日) 正解等の発表

1/22 (水) 予定 平均点等の中間発表

自己採点の結果返却・面談などで出願校を検討

1/27 (月) ~2/5 (水) 国公立大出願

試験当日の過ごし方も考えておこう

センター試験当日は、試験開始までの待ち時間の過ごし方も大切なポイント。参考書やノートなどで最終チェックをする、リラックスして待つなど、どんなふうにも過ごせば自分の実力が最も発揮できるのかを、模試や演習などを利用して確認しておこう。また、昼食時の気持ちの切り替えも重要だ。

優先順位をつけて問題を解くこと

時間を有効に使うためには、問題を解く順番も大切。解き始める前にすべての設問に目を通し、確実に解ける自信のある設問から解くよう心がけよう。

自己採点を正確にするために

個別学力検査の出願は、センター試験の自己採点結果をもとに決定することになる。自己採点を正確に行うため、受験中は解答番号を問題冊子に必ず控えておこう。

1点も無駄にしないマーク記入ルール

- わからない設問があっても、とにかくすべての設問にマークすること
- 訂正をする際には、跡が残らないよう完全に消しゴムで消すこと
- 1つの設問に2個以上のマークをしていないかを確認すること
- 「記入欄のズレ」などはないか、問題冊子と突き合わせて確認すること

センター試験本番に向けての確認事項

【その1】学習面：センター試験までにもう一度確認しておこう

- 模試などで、あいまいだった問題を確認しておこう（「解答解説」に線を引いておこう）。
- センター試験の出題形式に慣れよう（模試や問題集を活用しよう）。
- 時間配分の感覚を身につけておこう（時間内に解き終える練習をしよう）。
- 地歴・公民、理科の受験する順番をあらかじめ決めておこう（「第一解答科目」と「高得点科目」のどちらを合否判定に利用するかは大学によって異なることがあるので要注意。大学の募集要項を確認しよう）。
- 自己採点が正確にできるように練習しておこう。
- 1科目につき、あと2問ずつは確実に解けるように勉強しよう（1問は2～4点ある）。
- 絶対に落とさない科目を決めよう（取れる科目・分野で確実に得点できるように）。

【その2】生活面：今のうちから生活リズムを整えよう

- センター試験開始は9：30から。夜型から朝型へ生活習慣を切り替えよう。
- 普段と違う食べ物・飲み物には注意。いつも通りの食事をしよう。
- 生活リズムを崩さないように気をつけよう。
- 本番までは、携帯電話・メール・動画を控えよう。本番に向けて集中力を高めていこう。

先輩からのメッセージ ～健康管理は隠れた入試科目～

- 風邪をひいてしまったせいで、失敗した。寒さ対策をしっかりとっておこう。
- 試験中の最大の敵は寝不足・寝坊だった。
- 早寝早起きなど生活リズムを作るのは大事。朝から脳がしっかり働くようにしよう。
- 時々気分転換を心がけたのがよかった。軽いストレッチなどがおすすめ。

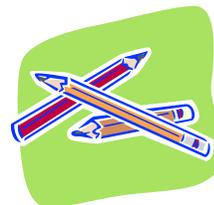


【その3】いよいよ本番：センター試験直前・本番で困らないように

- 当日は雨や雪が降るかもしれない。試験会場までどうやって行くのか、交通手段をチェックしておこう
- センター試験の休憩時間は意外と長い。簡単にチェックできるノートやカードを準備しよう
- センター試験直前・当日に困ったことがあれば、受験票記載の入試本部に連絡。

正確な自己採点をするために ～センター試験本番での解答の掟～

- 試験開始前に、見直しの時間も計算に入れて時間配分をすること
- 受験番号や名前などの記入に誤りがないかどうか確認すること
- マークの「ダブリ」や記入欄の「ズレ」などがいないか確認すること
- 受験中に自分の解答を問題冊子に必ず控えること
- マークシート上で訂正した場合、問題冊子の控えにも訂正を反映させること
- 訂正の際は完全に消しゴムで消すこと
- 問題冊子の控えとマークシートの解答とが一致しているかを最後に見直すこと



以上、出典はベネッセハイスクールオンライン

2021年度大学入学共通テストについて

2021年度大学入学共通テスト（現高校2年生対象）は、当初改革の目玉であった「大学入試英語成績提供システム」の導入見送りの発表を受け、国公立大学の多くが英語民間資格・検定試験を利用しない方針を示しました。また大学入学共通テストで導入される予定であった国語・数学の記述式問題も導入が見送られました。それではセンター試験と共通テストは同じものなのでしょうか？

◇センター試験と同じ…ではない

センター試験と共通テストはやはりいくつかの点で異なります。まだ未確定の部分もありますが、その相違点を以下の5項目にまとめました。

■相違点1. 英語の配点変更（確定）

共通テストの英語は、現行のセンター試験（筆記200点、リスニング50点の250点満点）から配点を変更して、リーディングとリスニングで100点ずつの200点満点となります。時間はリーディング80分、リスニング60分（解答時間30分）と、現行のセンター試験と変化はありません。なお各大学が利用する場合、リーディングとリスニングの成績に傾斜を付けて利用する大学も多くあります（たとえばリーディング：リスニング＝4：1の割合など）。これから発表される大学も多いので、注意して情報を収集してください。

■相違点2. 英語の内容変化（確定）

リスニングはセンター試験は原則2回読みですが、共通テストでは1回読みの問題も入るようです。配点変更と相まってリスニングの比重は高まりそうです。

リーディングでは当初、発音、アクセント問題は英語民間資格・検定試験に委託する方針でした。しかし「大学入試英語成績提供システム」の導入見送りがされたにもかかわらず、「発音、アクセント、語句整序等を単独で問う問題を出題しない」ことを変更しないことが11月15日付けで大学入試センターから発表されています。

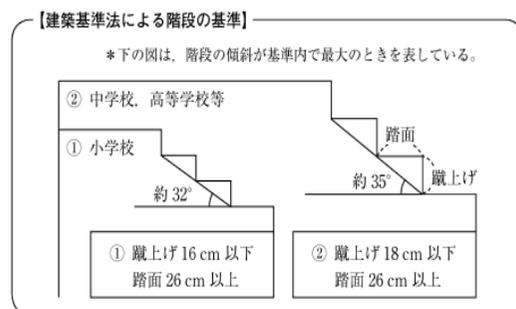
その他、共通テストの試行調査から、単語量の増加、設問の長文化、設問・注釈がすべて英語化される、図表の読み取り増加、などの変化が予想されます。たとえば単語数に関しては共通1次試験の英単語総数は、1988年度は約2500語でしたが、近年のセンター試験では4000語を超えて出題されています。これが共通テストの試行調査では約5400語と一気に約1000語増え、各大学の個別入試と比べても突出しています（河合塾資料より）。速読の習慣を付けておかなければなりません。

■相違点3. 国語の出題内容変化（ほぼ確定）

共通テストの2回の試行調査両方で、実用文が出題されました。1回目の試行調査では高校の生徒会の部活動規約について、生徒同士の会話文とアンケート結果などが問われました。2回目の試行調査では著作権について書かれたポスター、著作権法の条文、著作権についての論説文などが問われました。これまで通りの小説や評論に加えて、会話文や形式の違う図表など複数の資料から必要な情報を見極める問題が出題される可能性があります。

■相違点4. 数学、理科、地歴・公民でより読解力要求（ほぼ確定）

平成30年の共通テストの試行調査の数学では、右図のような階段の角度について建築基準法の図を与え、数学の知識を必要とする設問が出題されました。理科は実験問題や考察問題が増加、地歴・公民は読み取るべき図表、グラフ、史料等が増加しています。



■相違点5. 全科目：複数マーク・ゼロマークの出題（可能性あり）

現在のセンター試験は、選択肢が4~5程度あり、その中から1つを選ぶようになっています。つまり、四択なら正解が分からなくても、どれか1つを適当にマークすれば正解になる確率が25%と、それなりにあります。共通テストの試行調査では、「正しい選択肢をすべて選べ。正しいものがなければゼロをマークせよ」という問題が登場しています。ただしこれについては批判意見もあり、実際に出題されるかどうかは現在のところ不確かです。

英語外部検定を受検しよう

◇「大学入試英語成績提供システム」の導入は見送られましたか…

突然の大学入試英語成績提供システム導入見送りのニュースを聞いて、このように思った人はいないだろうか。

「えっ、それじゃ、もう外部検定を受ける必要はないの？」

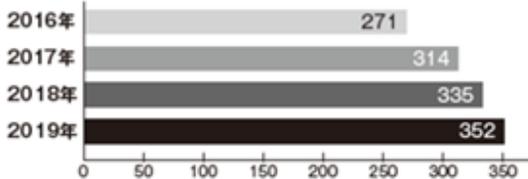
「英語4技能って言われてきたけど、もう受験に関係ないの？」

答えはどちらも「NO」です。

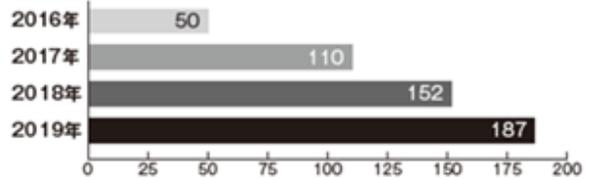
まず、今回見送られたのは「英語成績提供システム」の導入であり、大学入試における英語外部検定利用がなくなったり見送られたりしたわけではありません。大学入試における英語外部検定利用状況は、下の図のとおり増え続けています。そもそも「聞く」「話す」「読む」「書く」の英語4技能をバランスよく育成することは、現行の学習指導要領で示されており、続く新学習指導要領（2022年の高校入学者より実施）でも推進されています。つまり、英語4技能は今後とも育成すべき能力として重視されています。語学力を高めて、自分が取得したい検定試験にチャレンジしてください（出典：英検 HP より）。

■英語外部検定を入試に利用した大学数

■推薦・AO入試



■一般入試



■外部検定の主な利用方法

出願資格

英検準2級 → **出願可**
を持っていると

英検準2級 → **出願できない!**
を持っていないと

得点換算

英検準2級 → **出願可**
を持っていると
大学独自の英語試験「70点」に換算。英検2級だと80点、準1級だと100点など、さらに高い得点に！大学独自の英語試験も受験でき、よい方の得点で合否判定してくれる大学もある！

英検準2級 → **出願可**
を持っていないと
大学独自の英語試験を受験し、その得点で合否判定。

加点

英検2級! +10点
英検準2級! +10点
英検1級! +20点

**判定優遇
合否参考**

英検2級!

入試の総合点にプラス10点、20点など、判定評価に加点される。

合否判定の際に何らかの優遇が行われる。